

## 第89回定時総会開催

内山田会長が「自動車業界 550 万人の結束を目指し  
総合団体として着実に役割を果たす」と抱負を述べる

**第** 89回定時総会では、審議に先立って内山田竹志会長が挨拶し、「自動車業界は厳しい環境の中にあっても、カーボンニュートラルやSDGsの実現、DX（デジタルトランスフォーメーション）をはじめ、さまざまな目標へのチャレンジを続けていかなければなりません。加えて、自動車という一つの業界を超え、より広がりのある『モビリティ』というキーワードで繋がる産業が連携し、課題を克服しようという新たな取り組みも始まっております。これまで以上に自動車業界550万人の結束が求められている今こそ、当会議所は自動車関係の総合団体として、引き続き着実にその役割を果たしてまいる所存です」と力強く抱負を述べました。

この後、内山田会長を議長に選出し、内山田会長による議事進行の下、議案の審議に入りました。総会では、事務局から「2022年度事業実績・2023年度事業計画」、「2022年度決算・2023年度予算」、「理事選任」の3議案について説明し、審議の結果、いずれも原案通り承認されました。

当会議所では、事業計画において重点分野を「業界結束強化」、「税制」、「交通安全」、「保険」、「クルマ・バイク好き拡大」とし、関係業界の支持・支援の



議事進行を執り行う内山田会長（写真左から4人目）

下、▽表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞（CSP大賞）」、「ジャパンモビリティショー2023」の盛り上げ、▽過重で複雑な自動車関係諸税の抜本見直し、▽体験型交通安全イベント「交通安全。アクション」、▽自賠責積立金約5,900億円の早期全額返済に向けた理解活動、▽ホームページ・SNSを活用した、クルマ・バイク関連のイベント情報などの提供充実——をはじめ諸活動を展開することとしています。特に、2050年カーボンニュートラル実現に向け、経団連モビリティ委員会や自民党自動車議連などとの連携を取りながら、重点的に動向をフォローしていきます。

## 日本自動車会議所 役員名簿

2023年6月16日現在（順不同、敬称略）

[会長]	内山田 竹志	学識経験者（代表理事）	
[副会長]	豊田 章男	（一社）日本自動車工業会	会長
	金子 直幹	（一社）日本自動車販売協会連合会	会長
	坂本 克己	（公社）全日本トラック協会	会長
	清水 一郎	（公社）日本バス協会	会長
	清川 鍋一郎	（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会	会長
	有馬 浩二	（一社）日本自動車部品工業会	会長
	竹林 武一	（一社）日本自動車整備振興会連合会	会長
[理事]	赤間 俊一	（一社）全国軽自動車協会連合会	会長
	上野 金太郎	日本自動車輸入組合	理事長《新任》
	海津 博	（一社）日本中古自動車販売協会連合会	会長
[専務理事]	山岡 正博	事務局担当（代表理事）	
[常務理事]	畠山 太作	事務局担当	
[理事(常勤)]	橋本 勝也	事務局担当	
[監事]	安原 敬裕	（一社）全国自動車標板協議会	会長
	細谷 和典	（株）SUBARU	取締役会長
	原 典之	三井住友海上火災保険(株)	取締役会長

## 一般社団法人 日本自動車会議所 2023年度 定時総会懇親会

## 内山田 竹志会長 挨拶

本日は、国会開会中であり、また公務ご多用の中、経済産業大臣の西村康稔様、国土交通大臣政務官の西田昭二様はじめ、政府・国会議員の皆さま、当会議所の会員の皆さま、そして自動車関係団体・企業の皆さまなど、このように多くの方々にお集まりいただき、本当にありがとうございます。



コロナ禍前の状態で総会後の懇親会を、4年ぶりにこうして開催することができました。皆さまと直接お会いできる場を持てるということ、大変ありがたく、また嬉しく思っております。

さて、先ほど開催されました総会におきまして、ご提示いたしました議案につきましては、全てご承認いただきましたことを、まずは皆さまにご報告申し上げます。

いま、少子高齢化をはじめ、大きな社会課題が山積する中で、われわれ自動車産業挙げてカーボンニュートラルの実現や、DX・GXの推進にチャレンジしております。そうした中で、自動車産業の再結末という活動の大きな方向性に向けて、いつも申し上げているように、当会議所は550万の自動車産業にかかわる人々の力を一つにまとめる総合団体としての役割を果たしていきたいと思っております。

本年は、「ジャパンモビリティショー 2023」も行われますので、ここにおられます皆さまをはじめ自動車産業の力を集めて、その盛り上げを会議所としても実行していくと同時に、従来から進めております重点事業、すなわち税制、交通安全、自賠責の繰り戻し、そして自動車ファン・バイクファンを拡大していくという重点事業を柱に活動を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆さま、よろしく願います。

これまで以上に自動車業界の結束が求められてい



る今こそ、当会議所は自動車関係の総合団体として、引き続き着実にその役割を果たしてまいり所存です。

とりわけ、「税制」につきましては、先の大綱においてエコカー減税の据え置き・延長を実施していただき、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。しかしながら、わが国の自動車ユーザーは、まだまだ大きな税負担を強いられております。自動車の購入から保有、そして使用、このプロセスで極めて複雑で過重な税が自動車には課せられておりますが、これは世界的に見ても非常に重いユーザー負担となっております。

先ほども申し上げましたカーボンニュートラルの実現に向けては、税体系も抜本的に見直しをされるものと思っております。これを一つの大きな機会ととらえ、自動車ユーザーの負担が軽くなるよう、われわれも税制について勉強し、また皆さまと連携をしながら改革を進めてまいりたいと思っております。特に政府・国会議員の皆さまにおかれましては、何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

当会議所は、自動車関係の総合団体として、引き続き業界の連携促進と発展・向上に尽力してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。本日は限られた時間ではありますが、せっかくの機会ですので、この後、時間の許す限り、ご懇談いただければ幸いに存じます。

最後に、ご出席の皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。